

おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを次世代に残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校」の活動をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。

木の岡ビオトープ



春の自然観察会(R6年3月17日)

いろいろな植物を観察しました。虫こぶの名前は「植物名+(できる場所)+虫こぶの形+ブシ(突起)」とつけるそうです。(ヨモギ)(ハ)(シロケタマ)(フシ)、面白いね。

また、コウゾに思い思いの材料を重ねて、紙づくりもしました。その後、野草の天ぷらを持ち帰りました。



下阪本小学校の自然観察会(R6年5月14日)



虫が苦手な子どももいましたが、「初めて触った、楽しかった」と、大喜びでした。

探索路を進むと、琵琶湖が見えたり、竹やぶにタケノコが生えていたり。横たわる倒木も「アスレチック！」と、足をかけたりまたぎ越したりと楽しそうです。✓



お礼のお手紙



夏の自然観察会(R6年7月21日)



ビオトープ内で昆虫の観察と採集を行いました。講師に虫の名前を聞くだけで、お話が膨らむので、ますます興味がわきます。



その後、夏の恒例！青竹を材料に水鉄砲を作り、遊びました。



水鳥の観察会(R6年12月8日)



野草の
天ぷら



少し風が冷たいですが、空が澄んで気持ちのよい日となりました。
双眼鏡を手に水鳥の観察と、講師から聞くリアルな冬の琵琶湖の水鳥の話に、引き込まれます。ヨッシーの自然教室では、ピオトープで採れた「おにぐるみ」や木の枝を使った「くるみん・もっくん」の作品作りに夢中でした。
野草の天ぷらを持って、「楽しかった、また来たい。」と帰っていかれました。

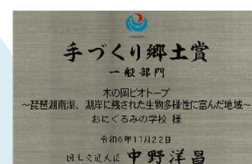


順路標識 リニューアル(R6年12月16日)

新しい順路標識を設置したので、散策しやすくなりました。



手づくり 郷土賞 受賞



琵琶湖周辺で減少しているエコトーンとしての独特の自然環境を守り、地域の多くの方々にこの環境が「宝」であるということを理解していただきたく活動しています。



◆一緒に木の岡ピオトープを守りませんか?◆

おにぐるみの学校では、木の岡ピオトープにおいて自然観察会の開催や保全活動を行っています。木の岡ピオトープの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援して下さる方の募集を行っています。みなさんで木の岡ピオトープの現状を理解し、地域親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか?みなさんの参加をお待ちしております

おにぐるみの学校事務局

(滋賀県土木交通部 流域政策局 河川・港湾室 河川環境係)
TEL:077-528-4154 FAX:077-528-4904 E-mail: ha04@pref.shiga.lg.jp
URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/19181.html>



★◇★ 自然観察会のおよそ一か月前に、参加者募集を開始します。★◇★

令和6年度の活動は(一社)近畿建設協会の支援を受けて実施しています。